

令和元年度 台東区立上野小学校 研究構想図

昨年度の研究から

- ・内閣府知財創造教育実証協力校として、豊かな創造性の育成に取り組んだ。
- ・課題設定の工夫をすることで、児童の主体的な学びが見られた。
- ・多教科の実践を積み重ねたが、一つの教科としての研究を深められていない。

今日的な教育課題（新学習指導要領全面実施に向けて）

- ・新学習指導要領の全面実施に向けた移行期間として、その趣旨を十分に理解することが求められている。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- ・育成を目指す資質・能力の明確化

児童の実態

- 物語を読むことや読み聞かせを聞くことは好きな児童が多い。
- 自分の意見を「伝えたい」「表現したい」という思いはある。
- 要点を捉えて聞く力や筋道を立てて話す力、書かれていることを正確に読む力に課題がある。
- 自分の意見に自信をもって表現することに苦手意識がある。



教師の思いや願い

- ・国語科に教科を絞って研究を深めたい。
- ・言葉にこだわって、学習する力を付けたい。
- ・聞く態度や要点を捉えて聞く力を育てたい。
- ・筋道を立てて話す力、相手の話を受け入れて話す力を育てたい。
- ・書かれている文章を正確に読み取る力を育てたい。
- ・自分の考えをもち、自信をもって表現できるようになってほしい。



研究主題

**自分の考えをもち、表現できる児童の育成
—国語科「話すこと・聞くこと」「読むこと」の学習を通して—**

目指す児童像

言葉による見方・考え方を働かせながら、

- 課題意識をもち自ら進んで学ぶ児童
- 自分の考えを明確にもつ児童
- 自分の考えを適切に表現する児童

研究仮説

国語科の学習において、課題設定や発問、表現方法等の指導を工夫することで、自ら進んで学び、自分の考えをもち、適切に表現できる児童を育成することができるだろう。

《研究主題に迫るための手だて》

課題設定の工夫

自分の考えを
もつための工夫

考えを適切に
表現するための工夫